

木曽川水系 木曽川 流域治水プロジェクト 代表施策集

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

昭和58年9月洪水を安全に流下させるために、高さ及び断面不足となっている中流部(起地区)の堤防整備の推進。

【概要】



施工前(濃尾大橋上流)



施工後(濃尾大橋上流)イメージ



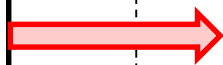
※現時点の予定であり、今後変更する可能性があります

対策メニュー

【木曽川上流河川事務所】
堤防整備

短期

中・長期



【目標(コンセプト)】

昭和58年9月洪水を安全に流下させるために、2,500m³/sの洪水調節を行えるように既設丸山ダムの再開発(新丸山ダムの整備)を推進。

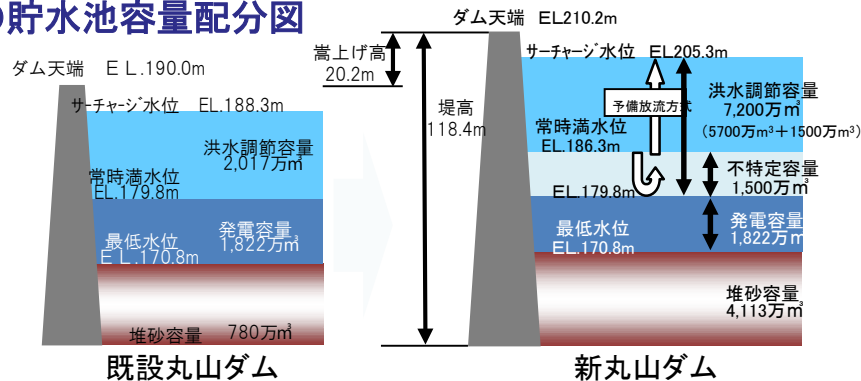
【概要】



○ダムの目的

1. 洪水調節
2. 流水の正常な機能の維持
3. 発電

○貯水池容量配分図

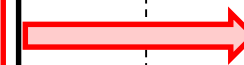


対策メニュー

【新丸山ダム工事事務所】
新丸山ダムの建設事業

短期

中・長期

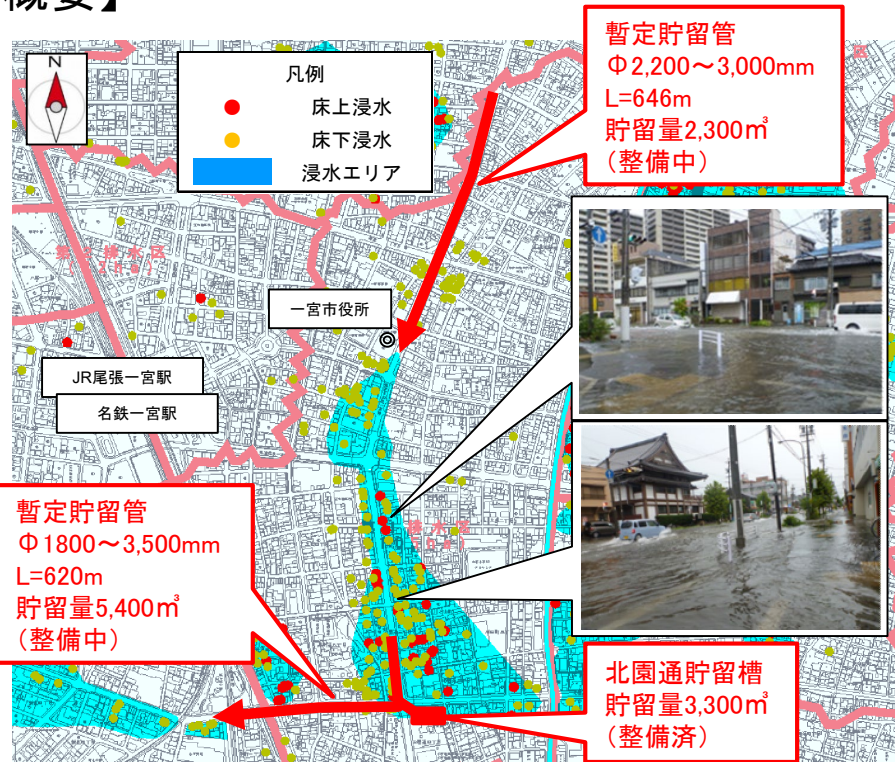


氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

平成28年8月末豪雨(既往最大112mm/h)において、浸水被害が発生、同規模の豪雨に対し床上浸水の解消と床下浸水の軽減を目指すため貯留施設の整備を推進。

【概要】



【目標(コンセプト)】

下流域への洪水被害防止への寄与するため、豪雨予想時に農業用ため池の事前放流の検討・推進。

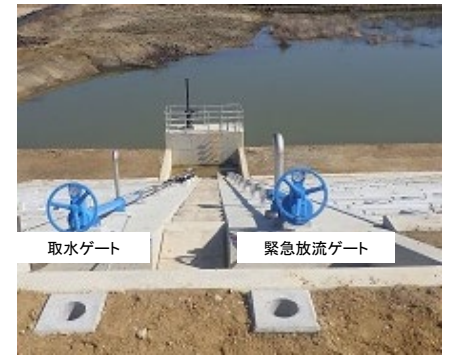
【概要】



【背景及び取組】
中津川市は岐阜県内でトップのため池数を有しており、数多くのため池にて、大雨予想時に事前放流を行うことにより、下流域での洪水を抑制出来ないかと考えています。これを実践するにあたり、ため池利用者の理解を得つつ、一池でも多く取組めれば効果は大きいと考えています。

【課題】

- ・ため池管理者への協力依頼
- ・事前放流実施のタイミングや方法
- ・事前放流実施後の市の情報把握
- ・事前放流過大(予想雨量より過少)による営農への影響

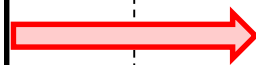


対策メニュー

短期

中・長期

【一宮市】下水管渠の整備

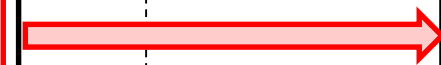


対策メニュー

短期

中・長期

【中津川市】ため池の整備・治水活用の検討・推進



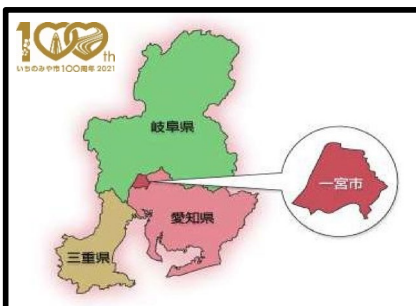
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

平成12年9月の東海豪雨被害を受け、ハード的な流域対策として河川改修だけでなく、小中学校の敷地内に降った雨水をグラウンドに貯める貯留施設の整備を推進。
 今後は公園にも展開。

【目標(コンセプト)】

平成23年9月の台風15号での内水はん濫を契機とし、同程度の豪雨に対して、床上浸水を概ね解消することを目標とし総合内水対策計画を策定し、それに基づき、国、岐阜県と役割分担のもと対策を実施。



令和2年度末
 29校(約28,000m³)完成



令和2年9月 学校貯留施設活用状況

まるとまちごと
 ハザードマップ
 (岐阜県・美濃加茂市・坂祝町)

浸水深表示板設置 県:10 美:10 坂:6

雨水流出抑制施設の設置助成制度 (美濃加茂市・坂祝町)

雨水貯留・浸透施設の設置にかかる費用の一部を助成します
 雨水の再利用や地下水のかん養を促進するとともに、浸水被害の軽減や健全な水環境の保全を図るため、雨水を一時的に貯留または浸透するための施設を設置される場合に、その費用の一部を助成します。

- 対象 市内に土地や住宅などを所有または使用し、それらの土地や住宅などに雨水貯留浸透施設を設置しようとする人(個人、団体、法人など)
- 補助対象施設と補助金額

補助対象施設	補助金の額
雨水貯留施設 浄化槽転用の雨水貯留槽 ※住宅等1棟につき1基まで	工事費の1/2 (上限80,000円)
雨水貯留施設 雨水簡易貯留施設 ※住宅等1棟につき1基まで (貯留能力が60リットル以上のもの)	材料費の1/2 (上限20,000円)
雨水浸透施設 雨水浸透ます ※住宅等1棟につき2基まで (浸透孔を有するもの)	工事費の1/2 (上限20,000円) ※2基設置する場合は、 2基の合計額)

※浄化槽転用の雨水貯留槽は、下水道への接続に合わせて施工してください
 ※雨水浸透ますは、急傾斜地などの条件下では設置できない場合があります
 ※補助金の申請をし、交付決定がされた後に工事を着工(材料の購入を含む)してください
 ●申込 上下水道課にある申請書に必要事項を記入し、申請に必要な書類を添えて上下水道課へ
 ※申請書は市ホームページからもダウンロードできます
 ◎上下水道課お客さま係 ☎内線323

16件(R2.12末)

建築高さ等の事前 届出制度創設(美濃加茂市・坂祝町)

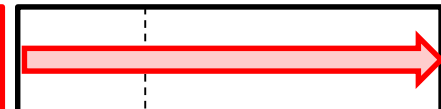
■加茂川下流域の浸水危険域で建物を新築する場合は届け出が必要です。
 大雨により浸水の恐れのある加茂川下流域において、建物の浸水被害を防止するため、市の浸水危険区域における建築制限指導要綱に基づき、新築・増設・改築・又は移転する場合には、建築工事を着工する前に市へ届出が必要となります。建築計画や予定のある方は事前に相談していただきますようお願いいたします。
 ■建築制限の内容(どちらか一方を満たすこと)
 (1) 建築物の敷地地盤高は敷高62.0m以上とすること
 (2) 高床式で建築する場合の床高62.0m以上を考慮し建築すること
 ■届出
 建築主等は、建築工事を着工する前に浸水危険区域内建築の届出書を市長に提出してください

対象地域：
 浸水危険区域:約40ha
 17件(R2.12末)

対策メニュー

短期 中・長期

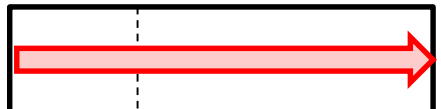
【一宮市】校庭貯留施設・公園貯留施設



対策メニュー

短期 中・長期

【美濃加茂市・坂祝町】加茂川総合内水対策計画における取組



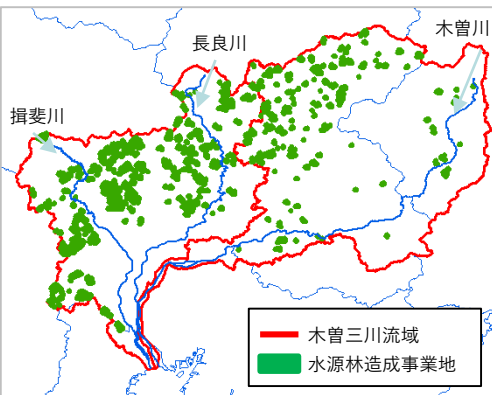
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】

土砂の流出や流木による被害を軽減するため、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進。

【概要】

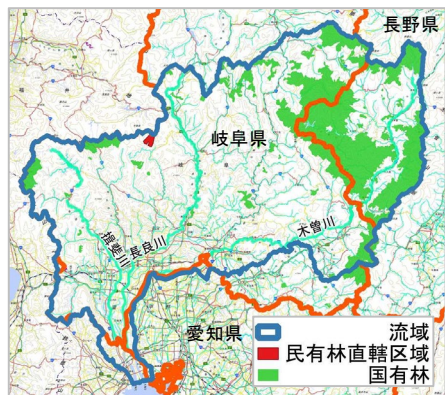
＜森林整備センターによる事業箇所＞



奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る。



＜中部森林管理局による事業箇所＞



間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林等については機動的に治山対策を実施。



【目標(コンセプト)】

【長野県】森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能等を適切に発揮させ、流木・土砂の流出に伴う河積阻害の抑制を図るため、治山対策を実施するとともに森林整備を支援。

【中津川市】森林環境譲与税(※)を活用し、市内の森林について、調査、計画策定、森林整備を推進。

【概要】

【森林整備】

間伐等の森林整備により、幹の肥大成長や根系を発達させ、強風や冠雪に対する抵抗力の向上や水源涵養機能の維持・増進を図るとともに、下層植生の繁茂を促すことにより、表面侵食及び表土流出の防止を図ります。



【治山対策】

集中豪雨等により、山崩れや土石流災害に対し、治山施設整備と森林整備を一体的に整備することにより森林の強靱化を図ります。



(※) 森林環境譲与税
温室効果ガスの排出削減や災害防止を図るための森林整備などを令和元年度から順次おこなってまいります。

対策メニュー

短期

中・長期

【森林整備センター】水源林造成事業
【中部森林管理局】流域内における森林整備・治山対策



対策メニュー

短期

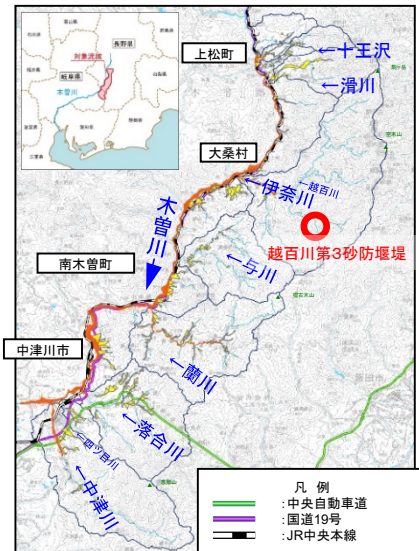
中・長期

【長野県、中津川市】流域内における森林整備・治山対策



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【目標(コンセプト)】※木曾川水系直轄砂防事業(事業期間:2013~2039年度)
 木曾川水系は急峻で脆弱な地質から荒廃地が分布し、各支川の下流には、重要交通網及びライフライン関連施設が点在しているおり、洪水及び土石流氾濫から人命、財産を保全するため、砂防堰堤等の整備を推進。



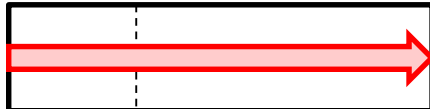
木曾川上流域、中津川流域は、林地の荒廃が著しく、南木曾災害(昭和40年)、四ッ目災害(昭和7年)などの土石流災害の再度災害防止を目的に木曾川上流域は昭和53年より、中津川流域は昭和12年より直轄事業化され、砂防堰堤の整備をおこなっている。これらを通じて、流域治水プロジェクトにおける山間部を中心とした対策を行っていく。



対策メニュー

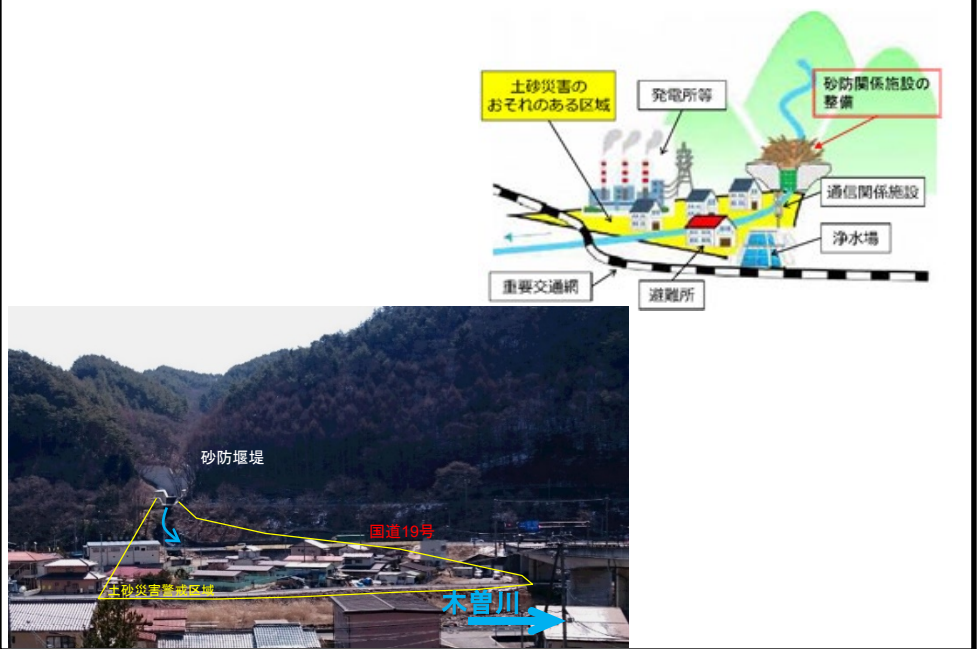
【多治見砂防国道事務所】砂防施設の整備(治山事業による流木・土砂の流出抑制含む)

短期 中・長期



【目標(コンセプト)】
 土石災害リスクの軽減に向け、砂防関係施設の整備を推進。

【概要】
 砂防関係施設の整備により、土石や流木の流出による被害を防止し、「いのち」を守り、「くらし」を支える基礎的インフラを保全します。



対策メニュー

【長野県・岐阜県・愛知県】砂防施設の整備(治山事業による流木・土砂の流出抑制含む)

短期 中・長期



被害対象を減少させるための対策

【目標(コンセプト)】

近年、台風や局地的な大雨の多発により浸水被害への対策が重要となっている。そうした中、「岩倉市住宅嵩上等浸水対策事業」を実施し、浸水による家屋の被害を防止又は軽減を図る。

【概要】

・事業内容

現に居住している家屋で住宅嵩上工事や浸水防止施設設置工事を実施する者に対し補助金を交付する事業。

・補助額

種目	補助金の額
住宅嵩上工事	住宅嵩上にかかる工事費の2分の1。限度額300万円。
浸水防止施設設置工事	浸水防止施設の設置に要した工事費、または、浸水防止施設の長さ1メートル当たり2万円を乗じて得た額(1メートル未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てた長さ)のいずれか少ない額の2分の1。限度額30万円。

・補助実績(いずれも浸水防止施設設置工事)

平成24年:2件 平成29年:1件 令和2年:1件

・実績写真

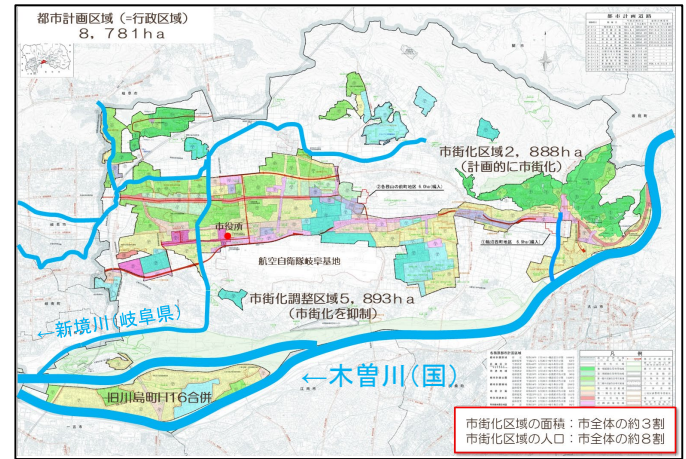


【目標(コンセプト)】

都市計画マスタープランに「公共交通を軸とした集約型都市構造」の位置づけ、具体的な施策の推進を図るため立地適正化計画の策定や居住誘導区域を設定にあたり、浸水リスクを考慮。

【概要】

学識経験者、交通、商工、福祉、地域等の代表者で構成する「立地適正化計画策定委員会」設立し、河川管理者はアドバイザーとして水害リスク等について助言。



居住誘導区域設定基準

- 基準①: 基幹的公共交通の徒歩圏
- 基準②: 住居系地区計画が定められた区域
- 基準③: 小学校の日常生活圏

災害危険性の高い区域の除外検討

- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 洪水浸水想定区域L1(浸水深1.0m以上)

➡ 居住誘導区域の設定において配慮が必要

対策メニュー

短期

中・長期

【岩倉市】住宅嵩上等浸水対策事業補助の運用



対策メニュー

短期

中・長期

【各務原市】立地適正化計画及び防災指針の検討



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【目標(コンセプト)】

川の魅力を次世代へ引き継ぎ、川と地域が一体となるまちづくりを目標に川のリスクマネージメントに関わる防災教育を実施。

【概要】

小学生を対象に、川と直接ふれあいながら、川の楽しさや危険性を学習するプログラムです。子供たちが大人になって、川の魅力を次世代へ引き継ぎ、川と地域が一体となるまちづくりにつながる。川を知り、暮らしの中に川があることを改めて認識することで、川に対する防災意識の向上を図る。

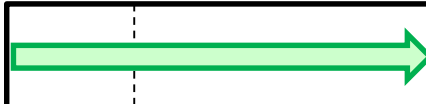


対策メニュー

【美濃加茂市】防災教育の継続的な実施と内容の充実(川のリスクマネージメント)

短期

中・長期



【目標(コンセプト)】

木曾三川下流部において高潮や洪水氾濫による大規模かつ広域な浸水被害が発生した場合でも、犠牲者をゼロにすることを目的に広域避難実現プロジェクトを推進。

【概要】



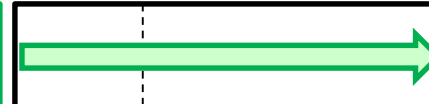
- 浸水想定区域外への自主的な早期広域避難を促す「自主的な広域避難情報(広域避難の呼びかけ)」の発表及び実施体制をとりまとめた「木曾三川下流部高潮・洪水災害広域避難計画(第1版)」を令和2年8月に策定。
- 今後は、訓練等をとおして計画をより実効性の高いものにしていく。

対策メニュー

【国・県・市町村等】木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトの運用

短期

中・長期



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

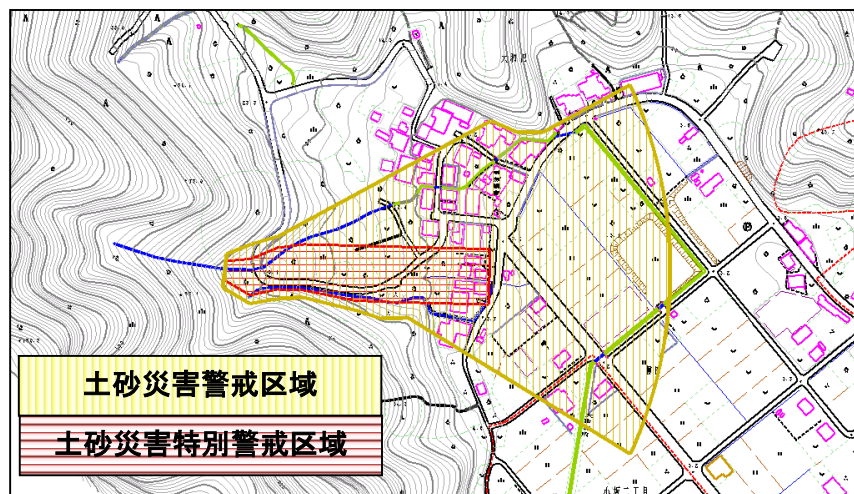
【目標(コンセプト)】

土砂災害の恐れのある土地の明確化と周知を推進するとともに、警戒避難体制の整備を促進。

【概要】

基礎調査により、土砂災害警戒区域の不断の見直しを進め、地形の改変や土地利用の変化等に伴う土砂災害の恐れのある土地の危険度及び認知度の向上を図る。

本調査結果を反映した市町村によるハザードマップ作成など、警戒避難体制整備を支援するとともに、一定の開発行為制限などの土砂災害防止対策を推進していく。



対策メニュー

短期

中・長期

【岐阜県】
防災・安全交付金(総合流域防災)

